

# 令和5年度 IR 推進センター 事業実施報告

## 1) 概要

IR 推進センター (Institutional Research Center) は、大学の教育研究に関する目標・事業計画の進捗状況の評価に必要なデータ及び分析結果の提供を行い、全学的な教育研究活動における適切な PDCA の推進を支援することを目的に、令和2年4月に設置されました。学内の各部署に蓄積されている入学前～卒後に至る多様なデータを統合・分析し、学生募集、教育研究活動、卒後支援に係る効果的なエンロールメント・マネジメント (入試～卒後までを一貫してサポートする総合的な学生支援策) に関する情報を管理し、各学部等からの分析依頼に対して結果をフィードバックするとともに、収集したデータに基づき、各学部等に対して改善施策の提案を行うのを主な業務としています。

## 2) 組織

- ・センター長 (副学長 (教育研究担当)) 1名
- ・副センター長 (准教授) 1名
- ・担当教員 (助教) 1名
- ・事務担当 7名
- ・補助職員 1名

## 3) 沿革

令和2年4月 IR 推進センター設置

上田陽一副学長がセンター長となる。前田理恵子が事務担当となる。

令和3年1月 井上彰臣が副センター長 (准教授) となる。井上由貴子が助教となる。  
大野麻樹子が補助職員となる。

令和4年4月 高見直也が事務担当となり、事務担当が2名体制となる。

令和5年4月 上田陽一センター長が学長となり、堀江正知副学長がセンター長となる。前田理恵子が併任解除となり、吉永 剛、鈴木 徹、西村 宏、加藤 晃子、中村由美、佐伯千鶴子が事務担当となる (事務担当が7名体制となる)。大野麻樹子が退職し、河野 梓が補助職員となる。

令和5年7月 中村由美が退職し、山崎小由美が事務担当となる。

## 4) スタッフ (令和5年7月現在)

氏名	職名
堀江正知	副学長・センター長・産業生態科学研究所 産業保健管理学的研究室 教授
井上彰臣	副センター長・准教授 (専任)
井上由貴子	助教 (専任)

4) スタッフ（令和5年7月現在）（続き）

氏名	職名
高見直也	事務担当・大学事務部 次長
吉永剛	事務担当・大学事務部 課長（学生課厚生担当）
鈴木徹	事務担当・大学事務部 大学管理課長代理
西村宏	事務担当・大学事務部 大学管理課 入試事務室長代理
加藤晃子	事務担当・大学事務部 教務課長代理
山崎小由美	事務担当・大学事務部 研究支援課長代理
佐伯千鶴子	事務担当・大学事務部 キャリア支援課長代理
河野梓	補助職員（専任）

5) 令和5年度の活動内容

- ・IR推進センター運営会議の開催（全4回）
- ・年次報告（医学部 医学科、産業保健学部 看護学科、産業保健学部 産業衛生科学科／環境マネジメント学科）の作成
- ・第41回産業医科大学学会総会での活動報告
- ・医学部卒業生 初期臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」（卒後1年目の初期臨床研修医の指導医による客観評価）の実施
- ・医学部卒業生「コンピテンシー到達度調査」（自己評価アンケート）の実施
- ・医学部1～6年次生「コンピテンシー到達度自己評価アンケート」の実施
- ・医学部4年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施

<IR推進センター運営会議の議事概要>

回数	開催日	主な議題
第1回	令和5年4月18日	IR推進センター運営会議 構成員名簿（任期：令和5年4月～令和8年3月） 令和4年度 予算実績報告（案） 令和4年度 大学教育・研究に関する目標・事業計画（自己点検評価） 令和4年度 事業実施報告（案） 医学部において入学～卒後に実施するアンケート調査 令和3年度 年次報告（医学部、看護学科、産業衛生科学科）
第2回	令和5年8月2日	学生へのアンケート調査実施状況（大学事務部） 医学部卒業生 初期臨床研修先「コンピテンス到達度評価アンケート」の実施方法（案） 医学部卒業生「コンピテンシー到達度調査」の実施方法（案） 学生のメンタルヘルス・周囲のサポート状況の評価指標（案） 教員の毎年の業績評価の管理方法（案）

第3回	令和5年11月7日	IR推進センター運営会議 構成員名簿（更新案） 医学部1～6年次生「コンピテンシー到達度自己評価アンケート」および医学部4年次生「カリキュラム評価アンケート」の実施方法（案） 学生のメンタルヘルス・周囲のサポート状況の評価指標（案） 教員の毎年の業績評価の管理方法（案）
第4回	令和6年2月8日	令和6年度 事業実施計画・予算実施計画（案） 学生のメンタルヘルス・周囲のサポート状況の評価指標（案）

## 6) 令和5年度の活動実績

### 6-1. 分析支援実績（申請番号および分析支援内容：カッコ内は対象学部）

- R5-001 看護学科一般選抜（A方式）入学者の入試成績と入学後成績との関連（産保）
- R5-002 入試における面接評価とストレート卒業率との関連（医）
- R5-003 授業項目と医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）との対応（医）
- R5-004 CBTのIRT得点とその後の総合試験・卒業・医師国家試験成績との関連（医）
- R5-005 一般選抜における理科の科目選択（物理・生物）別の得点分布（医）
- R5-006 1～2年次における英語の成績上位者の傾向分析（医）
- R5-007 学校推薦型選抜の合格基準シミュレーション（医）
- R5-008 コンピテンシー到達度評価とカリキュラム評価の集計（予備的検討）（産保）

### 6-2. 企画支援実績（内容および対応する分析支援の申請番号）

- ① 産業保健学部のコンピテンシー到達度指標の作成支援（R5-008）

## 7) 教育業績（専任教員）

### < 卒前教育 >

医学部：心理学

産業保健学部：メンタルヘルス概論、産業保健学概論

### < 卒後教育 >

医学部：産業医学総合実習（4. 「メンタルヘルス」）

産業医学基本講座（本学開催）（健康管理実習）

産業医学基本講座（東京開催）（メンタルヘルス対策実習）

大学院：産業衛生学研究概論

## 8) 研究業績（専任教員）

- ・ Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Tsutsumi A. Perceived psychosocial safety climate, psychological distress, and work engagement in Japanese employees: a cross-sectional mediation analysis of job demands and job resources. J Occup Health 2023; 65(1): e12405.

- Eguchi H, Watanabe K, Kawakami N, Ando E, Imamura K, Sakuraya A, Sasaki N, Inoue A, Tsuno K, Otsuka Y, Inoue R, Nishida N, Iwanaga M, Hino A, Shimazu A, Tsutsumi A. Work-related psychosocial factors and inflammatory markers: a systematic review and meta-analysis. *J Psychosom Res* 2023; 170: 111349.
- 井上彰臣. 心理社会的な安全風土. *産業ストレス研究* 2023; 30(3): 315.
- Inoue Y, Nakata A, Tateishi S, Mafune K, Tsuji M, Ogami A, Odagami K, Matsugaki R, Fujino Y, CORoNa Work Project. Insufficient workplace infection control and unhealthy lifestyle behaviors are related to poor self-rated health during COVID-19 pandemic. *J Occup Environ Med* 2023; 65(10): e668–e674.
- Mori K, Odagami K, Hiraoka K, Ito N, Inoue A, Nagata T, Adi NP, Zacher H. The Japanese version of the occupational future time perspective scale: a validation study. *J Occup Health* 2023; 65(1): e12432.
- 櫻谷あすか, 津野香奈美, 井上彰臣, 大塚泰正, 江口尚, 渡辺和広, 荒川裕貴, 川上憲人, 小林由佳. 産業保健専門職が発揮するリーダーシップの準備状態を測定する尺度: TOMH リーダーシップチェックリスト (TLC) の開発と信頼性・妥当性の検証. *産業衛生学雑誌* 2024; 66(1): 31–44.
- Watanabe K, Hikichi H, Imamura K, Sakuraya A, Yoshikawa T, Izawa S, Eguchi H, Inoue A, Yoshida K, Orihashi Y, Tsutsumi A. Multifaceted ORganizational InterventiONs (M-ORION) project for prevention of depression and anxiety among workers: study protocol for a five-arm cluster randomized controlled trial. *BMC Public Health* 2024; 24(1): 601.